

令和3年度 学校運営協議会記録

1 日 時 令和4年3月7日(月) 10:00~11:00

2 内 容

- 児童アンケートの問5では、読書をよくしていると答えた児童が66%だった。毎朝8:00~8:05に読書の時間を設定しているが、準備が間に合わずできていない児童がいる。中学校では、朝に10分間読書の時間を設定し、生徒は落ち着いて読書ができている。小学校でも設定の見直しが必要かもしれない。
- 中学年の掲示してあった今年の目標に「算数をがんばる」と書いている児童が多かった。中学年から学習内容が難しくなる。いろいろな工夫をして分かる授業に取り組む必要がある。
- 保護者アンケートの問1では、保護者も教職員も「楽しく学校生活を送っていますか。」の項目が、高いことはすばらしい。しかし、項目によっては保護者と教職員の結果に差がある。コロナ禍なので問10の学校行事については仕方がないと思うが、問8の「学校は、子どもや保護者の相談や悩みに適切に応じていますか。」が、大切である。学校は、保護者や子どもの側に立って考える必要がある。
- 保護者アンケートの問7「学校は、情報教育に取り組んでいますか。」では、「わからない」と答えている保護者が多い。また、問12「学校は、学習や学校生活の様子を分かりやすく伝えていきますか。」については、下がってきている。このことは、児童アンケートの問12「家族と学校のことをよく話す」が低いこととも関係しているのではないか。子どもも保護者も忙しく対話が不十分なのかもしれない。親と子の関係では対話が大事である。また、学校はICTを活用した授業などを含め、学校生活の様子を積極的に発信してほしい。
- 授業の様子ではタブレットをよく使っていたが、児童一人一人の進み具合の確認が必要である。また、タブレットを使うことが目的ではなく、あくまでも補助教材として活用し、分かる授業、楽しい授業と定着授業の両方を目指してほしい。
- 廊下や教室の整理整頓に心掛けるなど、学ぶ環境を整える。児童の作品が多く展示されていることは良かった。児童の励みになっていると思う。